



# 九条の会. ひがしなだ ニュース

第 119 号

2019年  
11月28日

事務局 西谷利文 Tel 080-1485-5603 E-mail [nishi-t@hm.h555.net](mailto:nishi-t@hm.h555.net)

深草徹のここがポイント

## 海上自衛隊派遣は「脱法行為」

深草 徹



「脱法行為」という言葉を、ご存知でしょうか。

脱法行為とは法律に従っているかのように装われた行為で、一見問題がないように見えますが、実のところは、違法な行為のことです。

政府は、アメリカ主導による対イラン武力干渉のための「有志連合」構想・海洋安全保障イニシアティブへの不参加を表明しつつ、独自に海上自衛隊（護衛艦及び哨戒機）を、中東に派遣することを決め、その実施細目の「検討作業」に入っています。

政府が、その法的根拠として持ち出しているのが、防衛省の所掌事務を定める防衛省設置法第4条第18号の「所掌事務の遂行に必要な調査及びその研究を行うこと」という条文です。しかし、防衛省設置法は、行政庁の所掌事務等を定める「行政組織法」と言われる分野の法律で、実力装置である自衛隊の具体的任務・権限・活動内容とその要件を、定めるものではありません。

海上自衛隊を中東に派遣するためには、自衛隊法及びその関連法令（これを「行政作用法」と言います）の定めるところによらねばならず、もし該当する定めがなければ、派遣できないのです。

政府が目論む海上自衛隊の中東派遣は、脱法行為で、とうてい許されるものではありません。

（深草憲法問題研究室主宰、九条の会. ひがしなだ共同代表）

平和のつどいご案内

## ここまで来ている！メディアの危機 南彰さんに「メディア制圧」の真実を聞く

新原三恵子

安倍政権は国民の暮らしを大切にしない政治を行っているのに、マスコミはその実態、真実を報道しない。朝から晩まで付度したような報道ばかり。未曾有の災害が次々なのに、そこへの財政支出は少ない。武器の爆買いにはジャブジャブ税金を使う。それでも「安倍政権は国民生活の優先度が低い非情な政権」という報道は少ない。

朝日新聞記者で、新聞労連委員長でもある南彰さんは、この制圧されているメディアを何とかしなければ、という強い思いから、日々闘われている。

今回の「平和のつどい」では、メディアの危機的な現状、制圧に対する日々の闘い、「嫌韓」報道に対する新聞労連声明などの報告をしていただく。



皆さん、政府は国民が真実に目を向けないようにしており、その事実を聞きに来て下さい。

12月8日（日）14：00～新長田勤労市民センター3階大ホールでお待ちしています。

（アイ女性会議ひょうご）



私のひと言

## 私たちは知っていたか ～中国「万人坑」のことを～

高橋精巧

今、日韓の間で、慰安婦や徴用工のことが、大きな問題となっています。類似することは日中の間でも存在しています。

去る10月27日、神戸市兵庫区での日中友好協会創立69周年記念講演会で、「中国人強制連行・強制労働と万人坑」のお話を聞きました。アジア太平洋戦争の末期、日本国内に強制連行された約4万人のことは知られていますが、中国大陸における強制連行・強制労働については、日本ではほとんど知られていません。

日本国内に比べると、中国大陸での被害規模はケタ違いに大きく、日本が占領支配した「満州国で1640万人、華北で2000万人にのぼり、さらに華中、華南を加えればその数4000万人にのぼる」と、講師の青木茂さんは「万人坑」（人捨て場）の遺骨調査をもとに、語りました。

歴史を約80年遡る時代に起こった悲劇の現場は発掘し、その現場を博物館や書物の記録として残すことが、きわめて大切です。それらがあれば、後世の人びとも偶然・必然に関わらず、何かの機会に、その史実に出会い、学ぶことができます。

歴史の真実を、しっかりと伝えることは、未来への確かな「羅針盤」となるのです。2019.10.27記

（さよなら原発神戸アクション）



平和随想

## 歴史を「心に刻み、石に刻む」

飛田 雄一



神戸電鉄敷設工事の過程で戦前、13名の朝鮮人が犠牲となっている。1928年11月15日の東山トンネル事故2名、1936年11月25日の藍那トンネル事故5名などである。

1996年11月、兵庫区・東山トンネル近くの会下山公園のはずれに、朝鮮人労働者のモニュメント（金城実制作）が建てられた。毎年10月、モニュメント前で追悼集会が開かれており、今年は10月20日（日）昼12時から行われた。朝鮮高校の生徒も参加し、

感動的な追悼文も読み上げられた。その後、これも恒例となっている、事故現場のひとつである烏原（からすはら）貯水池で、バーベキューの会があった。

モニュメントには、韓国からの来訪者もある。日本人、在日コリアンなどの歴史学習の訪問先にもなっている。歴史を「心に刻み、石に刻む」ことが大切で、神戸の発展に尽くし、犠牲となった朝鮮人モニュメントの存在意義は大きい。この追悼会に一度参加していただきたい。

## 良心って何だろう？ ④

# 他者と共に知る〈良心〉(1)

岡野彩子

次に、他者と共に知る〈良心〉の一例を見てみましょう。

米国の社会学者ガースとミルズは共著『性格と社会構造』(1953年)の中で、社会における重要な他者の態度が人間の心に内面化される時「一般化された他者」が形成され、良心として経験される、と述べています。この一般化された他者、という概念はG・H・ミードの用語で、彼においては社会全体を意味しますが、ガースたちは、選択された社会の一部と理解しました。

つまり、それは各人にとって、これ迄、あるいは現在の重要な人々を意味するに過ぎず、しかもその内容は、望ましい自己イメージを確証してくれるものを、他者として選択してゆくため、変容します。

したがって、同じ社会に属しても、履歴が異なると同じ行為に対して、異なる良心の呵責を感じることがあり得ます。

また、ミードたちは社会や階層全体の一般化された他者も変化すると考えました。変わる度に人々は自身についても再評価され、良心の危機に陥ります。西欧の歴史ではとくに宗教的復興や政治的・経済的革命の際にみられ、そうした革命では、まず公人や指導的立場の権威ある他者が再評価プロセスの端緒となり、徐々に両親や教師などに吸収され、新たな社会参画者に範を示すことになります。

(大阪大学特任研究員／関西大学・京都産業大学非常勤講師)

## 檻の中のライオン憲法講座⑳

# 檻は硬く作っておこう ～硬性憲法

椋 大樹

ライオン(国家権力)が自分で好きなように檻(憲法)を広げることができるなら、ライオンを檻に入れておく意味がなくなってしまいます。そのため、檻は、ライオンの力では壊したり広げたりできないような「硬い」作りをしています。

最高法規である憲法に違反する法律には効力がありませんが、憲法の方を法律に合わせて変えることができるなら、憲法の意味がありません。

そこで、改憲には、①各議院の総議員の3分の2の賛成、②国民投票で過半数の賛成、が必要とされています(96条)。国会で多数を占める与党でも、3分の2以上の賛成を得るのは容易ではありません。このように変えにくいからこそ、憲法は最高法規なのです。簡単には変えられない硬い檻が、私たちを権力から守っています。それが立憲主義です。

参照『檻の中のライオン 憲法がわかる46のおはなし』椋大樹著

(はんどう・たいき、明日の自由を守る若手弁護士の会、ひろしま市民法律事務所)



# いつもカバンに「平和マップ」を

関本（市川）英恵

私はいつも、「神戸平和マップを作る会」の「平和マップ」を持ち歩いています。用事で出掛ける時にマップを広げ、近くにモニュメントなどがある際には立ち寄る、という風に活用しています。

なので、私が住んでいる「灘区南部」と、よく用事のある「中央区南部・北部」のマップに載っているスポットは、全て訪ねています。

全国各地が空襲を受けたのであって、「私が過ごしている地域でも、戦争があった」というのは、当たり前のことかもしれません。でも普通に、そのように感じる機会は、なかなかありません。だからこそ、自分自身にちょっと無理矢理、「ここでも戦争があった」と感じさせる機会を作ることは、大切な気がします。

過去の出来事でも、「ここで」あったと知れば、少し身近に考えられるように思うのです。

戦時中の体験を直接聴くことが難しくなっていく中、戦争のこと、憲法九条のこと、どのように考え伝えていくか、知恵を出し合っていく必要性を感じます。

（「憲法の歌」作詞者、しみん基金KOBELI理事、「こどもの権利・神戸」運営委員）



## 催し案内

### 2019 神戸空襲と神戸港の写真展

～神戸に平和記念館を～

日時 12月3日（火）～9日（月）  
会場 神戸市新長田勤労市民センター  
ギャラリー（3階）  
講演 戦時中の神戸港  
一軍港から非核神戸方式へ～  
日時 12月7日（土）14時～  
講師 坪井兵輔氏（阪南大学准教授）  
主催 神戸に平和記念館をつくる会  
問合せ 078-277-2636

### 東灘革新懇総会記念講演

近隣住民の健康と人類の生存を脅かす  
神戸製鋼石炭火力発電所の増設 NO！

日時 12月14日（土）14時～  
会場 東灘区民センター第1会議室  
講師 浅岡美恵さん（弁護士・  
気候ネットワーク代表）  
主催 平和と暮らしを守る東灘懇話会  
問合せ 080-6120-6012

### カンパの郵便振替口座

口座記号 00900-6  
番号 217129  
名義 九条の会. ひがしなだ



11月17日、自治体の首長とその経験者による「全国首長九条の会」が結成されました。そのアピールには「所属や立場、信条の違いを超え、『憲法9条擁護』の一点で手を携えた運動・世論づくりをすすめる所存です」と述べています。この影響は大きく、頼もしく思います。

（N）

編集後記